

松島 まつしま  
(釈 しゃく)  
南山 なんざん

天下有山水 各擅一方美  
衆美歸松洲 天下無山水

天下 てんか  
山水 さんすい  
有り あ

解説 松島の景勝が、天下一であることを詠った詩。

各 おのおの  
一方の いつほう  
美を び  
擅 ほしいまま にす

語釈 ※山水〓山と水の景色。※擅〓ひとりじめにする。※一方美〓一方の名声。※衆美〓もろもろの美しいもの。※松洲〓松島。洲は島の意。

衆美 しゅうび  
松洲 しょうしゅう に  
帰す き

通釈 天下いたるところに山水の名勝があり、それぞれその地方で評判が

天下 てんか  
山水 さんすい  
無し なし

高い。ところが、この松島は、それらの美景がすべて残らず集まっているので、この松島に比較すれば、ほかの名勝といわれるところは影が薄くなってしまう。松島のほかには天下に山水無しといっても過言ではない。